

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 12月

令和元年12月1日の推計人口 1,324,012人

世帯数 561,165世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、

世帯数：560,720世帯

#### 1 推計人口

令和元年12月1日現在の推計人口は、1,324,012人で、前月(1,325,775)に比べ763人の減少となった。

市部では島原市(12)、諫早市(10)、五島市(2)の3市で増加し、長崎市(357)、佐世保市(113)、杵岐市(51)、南島原市(46)、雲仙市(29)、対馬市(27)、松浦市(27)、大村市(25)、平戸市(16)、西海市(7)の10市で減少した。

郡部では佐々町(9)、時津町(2)の2町で増加し、新上五島町(37)、長与町(21)、小値賀町(13)、東彼杵町(13)、波佐見町(11)、川棚町(5)の6町で減少した。

自然動態は、出生数733人、死亡数1,479人で746人の減少、社会動態は、転入者数2,457人(県内転入を含む)、転出者2,474人(県内転出を含む)で、17人の減少となった。

#### 2 世帯数

令和元年12月1日現在の世帯数は、561,165世帯で前月(561,355)に比べ190世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…10月

1人当たり現金給与総額 253,536円

対前月比 0.7%増加

対前年同月比 2.8%増加

#### 1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額253,536円で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ2.8%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は249,909円で、前月に比べ1.0%増加し、前年同月に比べ2.3%増加した。

特別給与額は3,627円で、前年同月に比べ、1,120円増加した。

#### 2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は150.9時間で、前月に比べ2.9%増加し、前年同月に比べ、1.8%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は140.1時間で前月に比べ2.8%増加し、前年同月に比べ、1.6%減少した。

所定外労働時間数は10.8時間で、前月に比べ4.9%増加し、前年同月に比べ2.7%減少した。

#### 3 雇用

10月の常用労働者数は226,665人で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ0.7%増加した。

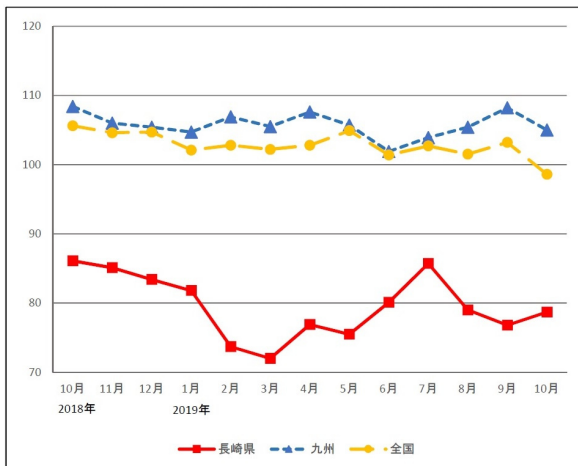
【鉱工業生産指数】…………… 10月

令和元年10月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	78.7	2.5	81.5	9.1
九州	105.0	3.2	108.9	4.2
全国	98.6	4.5	101.0	7.7

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和元年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が78.7で前月比は2.5%の増、原指数は81.5で対前年同月比は9.1%の減となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業など5業種が上昇し、電気機械工業、繊維工業、輸送機械工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	14.2	42.2	ボイラー
電子部品・デバイス工業	14.1	8.8	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	3.6	9.8	生コンクリート

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	24.1	16.7	交流発電機
繊維工業	3.0	15.2	そ毛糸
輸送機械工業	2.8	19.1	修繕船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 11月

総合指数(H27=100) 104.0

対前月比 (%) ±0.0

対前年同月比 (%) +0.6

令和元年11月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、104.0である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「光熱・水道」の+1.5%、「被服及び履物」の+1.1%であり、主な下落要因は「食料」の-0.7%、「住居」の±0.0%である。

前年同月比は、令和元年8月は+0.5%、9月は+0.4%、10月は+0.5%と推移した後、11月は0.6%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は104.1であり、前月比は+0.2%、前年同月比は+0.9%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	1.5%
被服及び履物	1.1%
諸雑費	0.7%
交通・通信	0.2%

同水準の費目

教 育	±0.0%
住 居	±0.0%

下落した費目

家具・家事用品	0.2%
保健医療	0.2%
教養娯楽	0.2%
食 料	0.7%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 11月

消費支出(一世帯当たり) 324,569円

前月比 20,148円増(6.6%増)

令和元年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は324,569円で、前月比6.6%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は73.8%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。